

片仮名・平仮名とヘブライ / アラム文字比較表

『和民族はユダヤ人だった』の著者のユダヤ人、ヨセフ・アイデルバーグによると、日本語の片仮名と平仮名はヘブライ語の文字（初期ヘブライ語で使われたアラム文字を含む）を元にして作られたという。だが、通説では片仮名と平仮名は奈良時代から平安時代にかけて、当時使われていた万葉仮名が次第に簡略化され形成されたものとされる。この両説を比較した表を作成した。万葉仮名の字源と言われる文字とヘブライ文字を並べ、片仮名・平仮名の起源となったと思われる文字の方を独断的に赤色で示したが、この結果を見ると、やはり万葉仮名起源説が優勢だ。

ヘブライ / アラム文字の方が起源ではないかと思われる片仮名・平仮名も一部にはあるが、全体としては「偶然に似ている」という域を出ていないかもしれない。もっとも、万葉仮名を元にして次第に出来上がっていった片仮名と平仮名の形成過程で、一部ヘブライ / アラム文字が加えられたという仮説は完全には否定できないだろう。だとしたら、『古事記』の編纂にもかかわったという秦氏の誰かが仮名の形成にもかかわっていたのかもしれない。だが結論としては、やはり片仮名・平仮名は万葉仮名つまり漢字を元にして作られたものとするのが妥当だろう。

アイデルバーグ説を支持（または紹介）する人々は、ラビ・マーヴィン・ケイヤー（ユダヤ人）やケン・ジョセフ（中東系アメリカ人）など外国人が多い。やはり漢字も知らない人々がこの種の研究を行うこと自体に無理があるのではないだろうか。

グループ欄：グループA～C＝ヨセフ・アイデルバーグの説、グループD＝百瀬の仮説
 ヘブライ文字の母音記号はフォントの構造上、実際の位置とは異なるところについています。
 比較に使用したアラム文字は、PDFファイルにフォントを埋め込むことができないので省略します。

カタカナ	万葉仮名の字源	ヘブライ文字	対応する英語の音	対応する日本語の音	ヘブライ語の子音文字名称	グループ
ア	阿	א		ア行または無音	アイン Ayin	D(百瀬の仮説)
あ	安					B(母音記号を付けた形)
イ	伊	ו	w	ワ行(wi)	ワーウ Waw	C(向きを変えて)
ウ	宇	ו	w	ワ行(wu)	ワーウ Waw	B(母音記号を付けた形)
カ	加	ק	q	カ行	コーフ Qohph	A(文字そのまま)
ク	久	כ	k, kh	カ行(ハ行の強調)	カフ Kaph	A(文字そのまま)
く	久	ג	g	ガ行	ギメル Gimel	C(向きを変えて)
ケ	介	כ	k, kh	カ行(ハ行の強調)	カフ Kaph	B(母音記号を付けた形)
コ	己	כ	k, kh	カ行(ハ行の強調)	カフ Kaph	A(文字そのまま)
シ	之	ש	sh	サ行	スイーン Sin	C(向きを変えて)
ス	須	צ	ts	ツア行	ツァー デー Tsadheh	C(向きを変えて)
そ	曾	צ	ts	ツア行	ツァー デー Tsadheh	A(文字そのまま)

カタカナ	万葉仮名の字源	ヘブライ文字	対応する英語の音	対応する日本語の音	ヘブライ語の子音文字名称	グループ
ソ	曾	ז	z	ザ行	ザイン Zayin	B (母音記号を付けた形)
ツ	州	צ	ts	ツア行	ツアーデー Tsadheh	D (百瀬の仮説)
ト	止	ת	t, th	タ行	ターウ Taw	A (文字そのまま)
ナ	奈	נ	n	ナ行	ヌーン Nun	B (母音記号を付けた形)
ノ	乃	נ	n	ナ行	ヌーン Nun	A (文字そのまま)
ハ	ハ	ה	h	ハ行	ヘー He	A (文字そのまま)
ヒ	比	ה	,	ハ行	ヘー He	C (向きを変えて)
へ	部	פ	p	パ行またはファ行	ペー Pe (終止形)	D (百瀬の仮説) 半時計方向に回転させると似ている。
ラ	良	ר	r(o)	ラ行	レーシュ Rehsh	B (母音記号を付けた形)
ら	良	ר	l	ラ行	ラーメド Lamedh	D (百瀬の仮説)
リ	利	ר	l	ラ行	ラーメド Lamedh	C (向きを変えて)
ル	流	ר	l	ラ行	ラーメド Lamedh	C (向きを変えて)
ワ	和	ו	w	ワ行	ワーウ Waw	A (文字そのまま)

参考文献：

『和民族はユダヤ人だった』、ヨセフ・アイデルバーグ著、たま出版

『聖書に隠された日本・ユダヤ封印の古代史』、ラビ・マーヴィン・トケイヤー、徳間書店

『聖書に隠された日本・ユダヤ封印の古代史 仏教・景教編』、久保有政 + ケン・ジョセフ、徳間

作成 : 百瀬直也 (2003/01/04) pasar@t.email.ne.jp

<http://www.ne.jp/asahi/pasar/tokek/>